

モニタリング結果報告書 (平成27年度)

1. 施設概要

施設名	花と緑のふれあいセンター		
所在地	平塚市寺田縄496番地1		
サイトURL	http://www.kana-garden.com/		
根拠条例	神奈川県立花と緑のふれあいセンター条例		
設置目的(設置時期)	花き園芸その他の農業を楽しむための情報提供施設(平成18年2月)		
指定管理者名	(株) かながわGAパートナーズ		
指定期間	H21.12.1～H42.3.31	施設所管課	湘南地域県政総合センター

2. 総合的な評価

総合的な評価の理由と今後の対応	
<p>3項目評価は「B」。利用者満足度は高い評価を得ているため、満足度を維持できるように、体験学習事業やイベント事業の充実を計り園の魅力アップさせて、その広報も継続して努めていき、再来園者と新たな来園者の増加に繋げていきたい。また、収支のバランスを安定していけるように、経営の合理化を図っていきたい。</p>	
<p><各項目の詳細説明></p> <p><1 管理運営等の状況> 事業計画に基づき施設の維持管理、運営事業を展開した。 展示事業として、中心コレクションであるバラ(約1,170品種)をはじめとし、3,280品種の植物を栽培している。修繕更新は施設の再塗装とユリ・リコリスの補植(業務要求水準3,000株、更新7,500株)と木陰を散策できる園路の新設をし魅力度のアップに繋げた。体験学習事業では、気づき体験事業を再開し、週末と夏休みを中心に収穫体験(164回1,339名)、その他団体プログラム(39回、798名)を実施し実績に繋げた。イベント事業は、春秋のローズフェスティバル、春の百花祭を開催すると共に、周辺施設と連携した連絡会「ひらつか花アグリ」で秋の収穫祭、いちごフェアを計画通り実施した。当施設は県施策に協力する事が求められる中で、イベント開催時に県主催の健康イベント、生活支援ロボット展示会等を実施し、県施策の広報も行った。</p> <p><2 利用状況> 春期の天候不順による入園者数の不振が影響し、昨年度比8%減となった。引き続き魅力度向上に努めていただくよう指導している。なお、昨年度より目標達成率が好転しているのは、H26年度の契約変更により、入園者目標が引き下げられた事による。</p> <p><3 利用者の満足度> アンケート結果のうち、施設全体の満足度の「満足」「どちらかといえば満足」の割合が96.2%であるため評価S。入園者20名毎にアンケート依頼を実施。年間パスポート利用者も多いので、何度も来園されている方に関しては回収率が低かったのではないかと分析している。</p> <p><4 収支状況> マイナスの収支の縮減率は40.1%で、収支差額は前年度より好転し、評価S。経営の合理化と入園者増につながる取組をバランス良く実施いただくよう引き続き指導している。</p> <p><5 苦情・要望等> ・報告書においての特記事項はなし。園内にご意見箱等を設置し、意見の把握に努めている。</p> <p><6 事故・不祥事> ・不祥事はなし。事故については、指定管理者にて速やかに適切な対応を行っている。</p> <p><7 労働環境の確保に係る取組状況> 県による監査、労働監督基準監督署からの指摘事項はなし。</p> <p><8 その他> 平成27年度の3項目評価についてはB評価とした。今後もイベントの実施等で園の魅力アップを図る努力を求めて行く。</p>	

3項目評価	<p>S: 極めて良好 A: 良好 B: 一部改善が必要 C: 抜本的な改善が必要</p> <p>※3項目評価とは、3つの項目(利用状況、利用者の満足度、収支状況)の評価結果をもとに行う評価をいう</p>
B	

3. 月例・随時モニタリング実施状況の確認

月例業務報告 確認	遅滞・特記事項があった月	特記事項または遅滞があった場合はその理由
現場確認	実施日	特記すべき事項があった場合はその内容
	月2回	
随時モニタリングにおける指導・改善勧告等の有無	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	指導・改善勧告等の内容

4. 管理運営等の状況

[指定管理業務]

事業計画の提案内容	実施状況等	実施状況に関わるコメント
<イベント事業> 第Ⅲのピーク期(4月上旬から5月上旬、3月) 「春の百花祭」チューリップの開花に合わせ、ステージイベント等を開催	・チューリップ(6万3千球)植栽 ・ステージイベント4日間開催 ・クイズ形式の宝探しゲーム5日間開催	4月15日までに9日間降雨があり、チューリップやステージイベント等を集客に繋げられなかった。
<イベント事業> 春バラ期(5月中旬～6月中旬) 春バラの開花期に併せて広報する。品種の豊富さ、歴史についても紹介。	・ラスカと提携し新しい広報展開(会報誌・DM、駅ビル懸垂幕、ローズフェス同時開催等) ・街灯にバナー設置	4月中旬からの高温でバラ開花が早まった上に見頃期間が短くなり、入園者数が減少した。
<イベント事業> 秋バラ期(10月上旬～11月上旬) 秋バラの告知だけでなく、他団体との連動を加えて実施する。	・FMヨコハマ鍋まつりを同時開催するなど、3日間のステージイベントを実施 ・かながわ健康イベント(県主催)と連携し、ロボット展示、健康体操等を実施	広報に力を入れたことに加え、天候にも恵まれ、対前年比10千人増の入園者数であった。
<体験学習事業> 気づき体験、農作物栽培展示、園芸教室・農業講座事業を実施する。	・気づき体験事業を再開した。 ・農作物栽培展示により、週末及び夏休み等の収穫体験を実施 ・各種園芸教室・農業講座を開催	
<体験学習-夏休みキッズ> 物づくり体験教室等を週末を中心に実施する。	・ふしぎ植物展(食虫植物、エアープランツ等)をテーマに展示会とワークショップを開催 ・各種こども気づき体験を実施 ・キッズダンスステージを3日間開催	8月は休園日が4日間あったが、昨年より入園者が増加し、効果的な内容であったと思われる。

[参考：自主事業]

事業計画の提案内容	実施状況等
初級園芸福祉士養成講座の開催 日本園芸福祉普及協会と連携し、初級園芸福祉士養成講座を開催する。	19名の受講者を対象に4日間の講座を開催した。 内14名が2月に資格試験を受験した。
花菜ガイドの活動 バラエリアのガイドを通して、花菜ガーデン全体の魅力を伝えていく活動を行う。	春秋のローズフェスティバル期間中、ボランティアでバラエリアのガイドを行った。

5. 利用状況

評価	《評価の目安》 目標値を設定し目標達成率で、S：110%以上 A：100%以上～110%未満 B：85%以上～100%未満 C：85%未満 目標値を設定していない場合は対前年度比。 社会福祉入所施設と県営住宅については評価を行わないこともできますが、「目標値」欄には代わりに定員数等を記載してください。
C	

	前々年度	前年度	平成27年度
利用者数※	190,587	204,983	188,589
対前年度比		107.6%	92.0%
目標値	337,722	336,699	230,082
目標達成率	56.4%	60.9%	82.0%

目標値の設定根拠： 業務要求水準20.7万人を超える実績を目標

利用者数の算出方法（対象）： 入園者入口にてカウント（入園者）

[参考：最大利用可能人数／年]

						合計
定員						
年間利用可能日数	343	338				
最大人数※	0	0	0	0	0	0
稼働率	%	%	%	%	%	

※ 原則は人数だが、施設の状況等により変更可能。単位を変更した場合はその理由

6. 利用者の満足度

評価	≪評価の目安≫ 「満足」（上位二段階の評価）と答えた割合が、S：90%以上 A：70%以上～90%未満 B：50%以上～70%未満 C：50%未満 ※評価は施設としての総合的評価の「満足」回答割合で行う
S	

満足度調査の実施内容	協定に定めた調査内容	実施結果と分析
	窓口における通年アンケート、イベント等の参加者アンケート	県指定管理者モニタリングアンケートに基づき実施。前年度と比較して「満足」と回答を得た割合は横ばいで94%の高い満足度を獲得している。

[施設としての総合的評価]

質問内容 大項目：花菜ガーデンの印象についてお聞きします。 小項目：全体の印象について

実施した調査の配布方法 窓口で配架 回収数/配布数 1,079 / 3,182 = 33.9%

配布(サンプル)対象 入園者

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	合計	満足、不満に回答があった場合はその理由
施設としての総合的評価の回答数	233	654	34	1	922	
回答率	25.3%	70.9%	3.7%	0.1%		
前年度の回答数	358	984	65	6	1413	
前年度回答率	25.3%	69.6%	4.6%	0.4%		
回答率の対前年度比	99.7%	101.9%	80.2%	25.5%		

(複数回実施した場合は、平均値を記載。)

[参考：職員の対応状況]

質問内容 大項目：花菜ガーデンの印象についてお聞きします。 小項目：従業員について

実施した調査の配布方法 窓口で配架 回収数/配布数 1,079 / 3,182 = 33.9%

配布(サンプル)対象 入園者

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	合計	満足、不満に回答があった場合はその理由
職員の対応状況の回答数	195	515	14	1	725	
回答率	26.9%	71.0%	1.9%	0.1%		
前年度の回答数	343	859	16	0	1218	
前年度回答率	28.2%	70.5%	1.3%	0.0%		
回答率の対前年度比	95.5%	100.7%	147.0%	-		

(複数回実施した場合は、平均値を記載。)

[参考：その他]

--

7. 収支状況

評価	《評価の目安》 収支差額の当初予算額：マイナスの施設が該当 (収支差額の当初予算額－収支差額の決算額)／収支差額の当初予算額の比率（マイナス収支の縮減率）が S（優良）：5%以上 A（良好）：0%～5%未満 B（概ね計画どおりの収支状況である）：-15%～0%未満 C（収支差額の決算額の削減額が当初予算の85%未満）：-15%未満
S	

[指定管理業務]

(単位:千円)

		収入の状況				支出の状況	収支の状況		
		指定管理料	利用料金	その他収入	その他収入の内訳	収入合計	支出	収支差額	マイナス収支の縮減率 ※
前々年度	当初予算	59,089	156,191	19,433		234,713	234,713	0	
	決算	59,089	65,976	17,588		142,653	168,209	-25,556	-
前年度	当初予算	78,254	160,118	19,976		258,348	258,348	0	
	決算	78,254	73,673	17,861		169,788	191,694	-21,906	-
27年度	当初予算	63,531	86,009	17,960		167,500	202,264	-34,764	
	決算	63,531	75,596	17,724	備考のとおり	156,851	177,673	-20,822	40.10%

※収支差額の当初予算額－収支差額の決算額/収支差額の当初予算額

※支出に納付金が含まれる場合、その内数

(単位:千円)

27年度 / 前年度 / 前々年度 /

<備考>

農業体験・講座等 2,416 広告協賛 2,472 サービス事業 12,836

[参考：県が支出した修繕工事費]

※県が支出する計画修繕工事・各所営繕工事等に係る修繕費

時期(年・月)	金額(千円)	工事箇所・内容(金額(千円))
なし		

(基本協定において県が負担することとしている修繕費等： _____ 千円以上)

[参考：資本的な収入及び支出等の状況]

	金額(千円)	内容(金額(千円))
収入	なし	
支出		
積立		

8. 苦情・要望等

分野	報告件数	概要	対応状況
施設・設備	件	なし	
	件		
職員対応	件	なし	
	件		
事業内容	件	なし	
	件		
その他	件	なし	
	件		

※指定管理者に起因するものを記載。その他、苦情・要望への対応を行ったものを記載。

9. 事故・不祥事等

発生日	事故等の概要	原因・問題点	①指定管理者の対応状況(再発防止策・業務改善策等) ②県の対応状況(随時モニタリング・改善勧告の実施等) ③責任の所在及び現在の状況
12月15日	昼間の時間帯に50歳代の女性が、当園横の商業施設の駐車場で車両を後進させる際、タイヤ止めブロックを超えて当園の大型駐車場にオーバーランし植栽の一部が破損した。		商業施設の店長より連絡を受け、警察、当事者の車両の保険会社代理店の担当者が立ち会いのもと、事業者が対応。事故によるけが人はなし。当園の破損箇所の修理については、保険会社代理店が担った。事故発生状況について事業者より県に速やかに報告があり、事業者の対応に問題はなかったため、改善勧告等の必要はないと判断した。

※随時モニタリングを実施した場合は必ずその内容を記載。

※過去に発生したものでも、新たな対応等を実施した場合には、その内容を記載。

※なお、大きな事故・不祥事に関して改善勧告を行わなかった場合は、その理由を併せて記載。

10. 労働環境の確保に係る取組状況

確認項目	指摘事項の有無	備考
法令に基づく手続き	無	
職員の配置体制	無	
労働時間	無	
職場環境	無	

※指摘事項は、県による監査（包括外部監査含む）又は労働基準監督署によるものとし、有とした場合は備考欄に概要を記載。